

事 項	青森シャモロックの21週齢飼育法		
ね ら い	<p>青森シャモロックは18週齢まで飼育し出荷するのが経済的であるが、最近食味を追求し、21週齢付近まで飼育している農家が増加しており、飼養上腹腔内脂肪や飼料費増加が問題となっている。このたび、肥育期に標準飼料に代えて大雛用飼料を給与することにより過剰脂肪付着の防止と低コスト化が認められたので参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 21週齢飼育における飼料給与法</p> <p>(1) 5～10週齢（育成期）は従来どおり標準飼料（ブロイラー用飼料と大雛用飼料の混合飼料）を給与する。</p> <p>(2) 11～21週齢（肥育期）は、大雛用飼料を給与する。</p> <p>2 大雛用飼料給与の効果</p> <p>(1) 肥育期は大雛用飼料を給与することによって、体重は標準飼料区に対して5%低下するが、腹腔内脂肪は20%低下する。</p> <p>(2) 大雛用区の腹腔内脂肪は、生体重比で3%以下の優れた値となる。</p> <p>(3) 増体1kg当たりの飼料費は、標準飼料給与の場合に比べて約70円節減される。</p>		
期待される効果	<p>肥料費が節減され、標準飼料で18週齢まで飼養した額と同程度の額で21週齢まで飼養できるとともに、腹腔内脂肪の増加が防止される。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 雄については、生体重が5kgを越える個体も現れるので、消費者・流通関係の意向を把握し、肥育期間にこだわらず要望に合った体重での出荷を心がける。</p> <p>2 21週齢を越える飼育については別途検討が必要である。</p>		
担 当	青森県畜産試験場 五戸支場	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	平成10年度 青森県畜産試験場試験研究成績書		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 21週齢体重・解体調査結果及び増体1kg当たりの飼料費

(平成10年 青森畜試)

区 分		21 週 齢 体 重 (kg)	正 肉 割 合 (%)	腹 腔 内 脂肪割合 (%)	増体1kg当りの 飼料費 (円)
週 齢	給与飼料				
5～10週齢 (育成期)	標 準	3.49	46.90	3.45	230.3
	中 雛 用	3.41	46.69	2.99	232.0
11～21週齢 (肥育期)	標 準	3.51	47.50	3.23	277.2
	大 雛 用	3.34	47.35	2.63	209.8
	標準+屑米	3.30	45.53	3.80	206.5

注) 標準：ブロイラー用飼料と大雛用飼料の混合飼料（混合割合1：1）

標準+屑米：標準飼料に屑米を30%混合